

## 柱 2

## 【校内研修内容の重点化】実践例

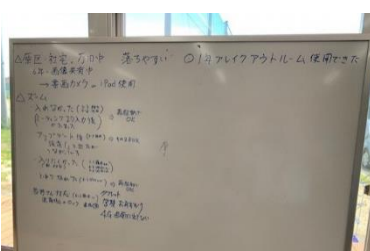
低中高学年部主任を中心に、組織的に高め合い・学び合うことで授業力向上を図る取組

～ 荒尾市立万田小学校～

コロナ禍であっても、学校総体でオンライン授業や校内ハイブリッド授業（教室と特別教室を利用し、オンライン授業と対面授業を組み合わせる授業を実施）に取り組んだ。職員が互いに実践や反省を積極的に出し合い、共有することで一人一人の授業力向上に寄与している。



学年部主任を中心に自主研



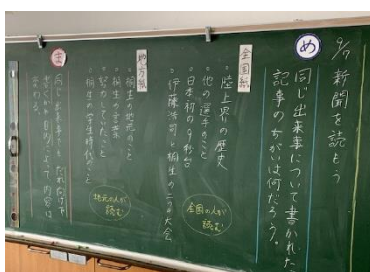
ホワイトボードで毎日の気づきを共有

コロナ禍において、夏休み明けからオンライン授業やハイブリッド授業を行うことにしました。実施に当たり、全体研修に加え、低中高学年部に配置した学年部主任を中心に自主研を行いました。また、職員室のホワイトボードに機器の不具合等を記入し、トラブルに備えるとともに、好事例も共有しています。

このことにより、画面の向こう側にいる子供たちを意識した板書の構造化や、教師が話しすぎない授業展開等の改善が進み、教職経験年数の少ない職員だけでなく、職員一人一人の授業力向上につながっています。



教師の話しすぎない授業展開を意識



画面の先の子供を意識した板書

## 柱 2

## 【校内研修内容の重点化】実践例

授業研究会において、児童による授業評価の導入やタブレットを活用した全職員の意見の可視化などによる研究テーマの具現化に迫る取組

～ 大津町立室小学校～

研究授業後に、目標の達成状況や授業時の気づき等を児童に聴き取り、研究会に児童による授業評価を取り入れるとともに、タブレットによる全職員の意見等の集約及びシンキングツール等の活用により、成果や課題を可視化、共有化する取組を行っている。

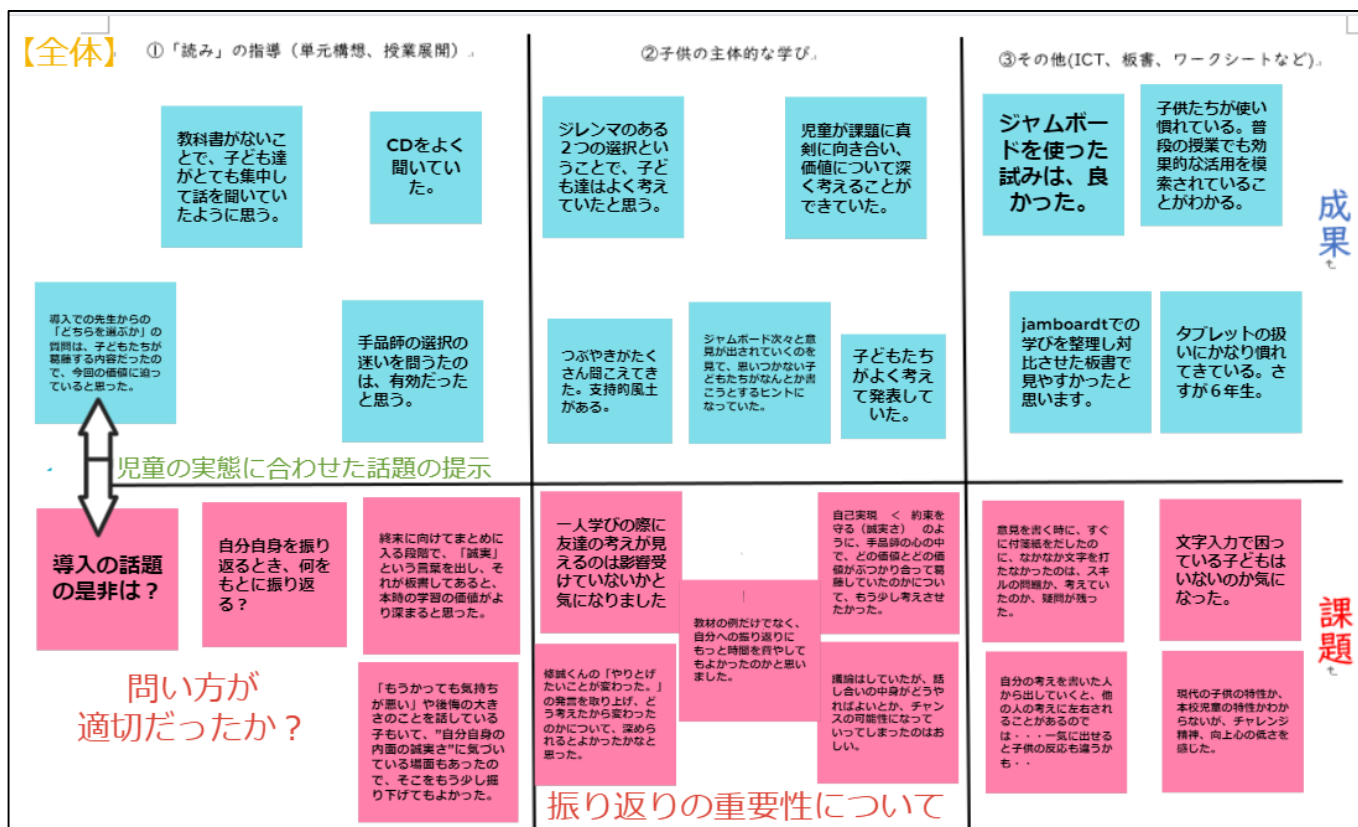


授業研究会では、複数児童へのインタビューを児童目線からの授業評価として取り入れています。また、研究協議では、一部職員の発言に偏らないよう、タブレットを活用して全職員が意見等を書き込むようにしています。その上で、ファシリテーター役の職員がシンキングツール等を使って、内容を整理しながら成果と課題を明らかにしています。

授業研究会の最後は、この授業研究会での学びを自分の授業にどう生かすかについて、各自でまとめ、教師自身の学びの履歴として蓄積しています。

# ICTを活用し、学校全体で問題意識を共有する授業研究会の取組 ～西原村立河原小学校～

授業研究会の際に、参観者が、①「読み」の指導（単元構想、授業展開）、②子供の主体的な学び、③その他（ICT、板書、ワークシートなど）の3つの観点から、WEB共有ボードに意見を書き込むことで、成果と課題を整理する授業研究会を行っている。



## 第6学年「道徳科」授業研究会

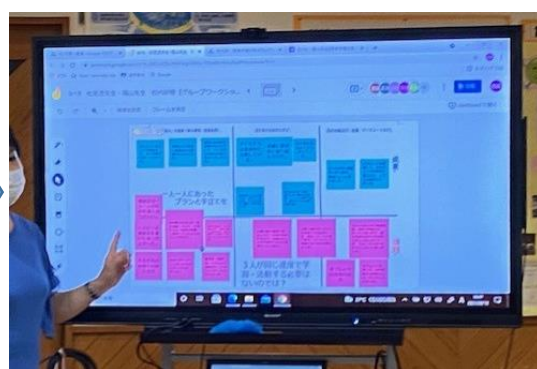
〈本時のねらい〉手品師の葛藤や決断について話し合うことを通じて、自分の中の誠実さに気づき、自分や他者に対して誠実であろうとする心情を育てる。

授業についての考察を3つの観点に絞り、WEB共有ボードを用いて全職員の意見等を共有することで、授業改善への意識が高まっています。

以前は、模造紙に付箋紙を貼り付ける形で意見の整理をしていましたが、発表する際に文字は見えづらいという課題がありました。WEB共有ボードを活用することで、見やすくなるとともに、データの蓄積もしやすくなりました。

また、先生方がWEB共有ボードの操作の仕方を理解し、ICT活用のメリットを感じるきっかけとなり、授業づくりにも活かされています。

校内研修  
における  
ICT活用





## 柱2 【校内研修内容の重点化】実践例

児童生徒の学力向上につなげるために、1人1台タブレット端末を効果的に活用した教職員の授業力向上に向けた取組  
～水俣市教育委員会～

ICTの活用に関して教職員の個人差が大きいため、市全体で教職員のボトムアップを図り、児童生徒の学力向上につなげられるよう協議している。



ICTの活用に関して教職員の個人差があるため、夏季休業中に水俣市教育セミナーを開催し、水俣市で導入しているソフトや市で作成した共有フォルダの活用方法等についてオンライン研修を行いました。

また、水俣市学校教育改革プロジェクト会議において、各学校から1名ずつ参加する授業力向上委員会を編成しています。ICTを活用した授業の工夫や、ソフト内に作成した共有フォルダの効果的な活用方法などについて、市全体の教職員のICTを活用した授業力向上及び児童生徒の学力向上につなげられるよう協議しています。

## 柱2 【校内研修内容の重点化】実践例

教育事務所と教育委員会が連携し、教員一人一人の授業力向上を図る取組  
～球磨教育事務所～

「熊本の学び推進プラン」に基づいたモデル授業の公開と授業研究会を実施し、モデル授業を各学校における校内研修に活かし、教員一人一人の授業力向上を図る取組を行っている。

### Waku Waku Study Meeting

令和3年度(2021年度)  
わくわくスタディミーティング事業



#### ★ 今年度のポイント

- 「熊本の学び推進プラン」に基づいた授業を公開します。
- 単元の目標を明確にした「学習構想案」で授業を実施します。
- すべての研究授業に熊本県教育庁義務教育課の指導主事が参加し、「熊本の学び」について助言します。
- 球磨教育事務所における学力向上を目指した「4つのポイント」の視点をもって授業づくりを行います。

校種を超えた  
学び合いを！

教育事務所と教育委員会が連携し、モデルとなる授業を公開しています。教育長会議及び校長会議において、各学校から複数の参加をお願いし、モデル授業を校内研修に活かしていただくようにしています。

授業者は、「わくわく授業プレゼンター」として委嘱を行い、指導主事とともに授業づくりを行います。中高連携の観点から管内高校にも参加を呼びかけています。

本年度は、管内の課題である小学校算数、小学校外国語及び中学校国語について実施しました。当日は、本庁義務教育課指導主事にも、「熊本の学び」について、指導等を行っていただきました。

県立教育センターが各学校の実態や課題に応じた学校支援を行い、教職員向けの講義や協議、授業研究会での指導助言等を通して、校内研修内容の重点化につなげる学校支援の取組

～ 熊本県立教育センター（スクールサポート）～

研究概要や各学校の実態を事前に把握し、双方向型の校内研修を通して、具体的に目指すべき姿や方向性を学校の全教職員と共に考えたり、取組実践の価値付けをしたりする。



各学校の実態（管理職や研究主任の願いや困り感等）に応じた校内研修を推進するために、学校の要請に応じて、学校を訪問したり、オンラインを活用したりして校内研修を支援します。

全教職員向けの講義・協議や授業研究会での指導助言等を通して、目指すべき姿や方向性を具体化し、実践の価値を確認するなどにより、各学校の校内研修の充実を図ります。

要請に応じて継続支援を行い、複数回実施することもあります。